

○提出書類ファイル仕様書 新旧対照表

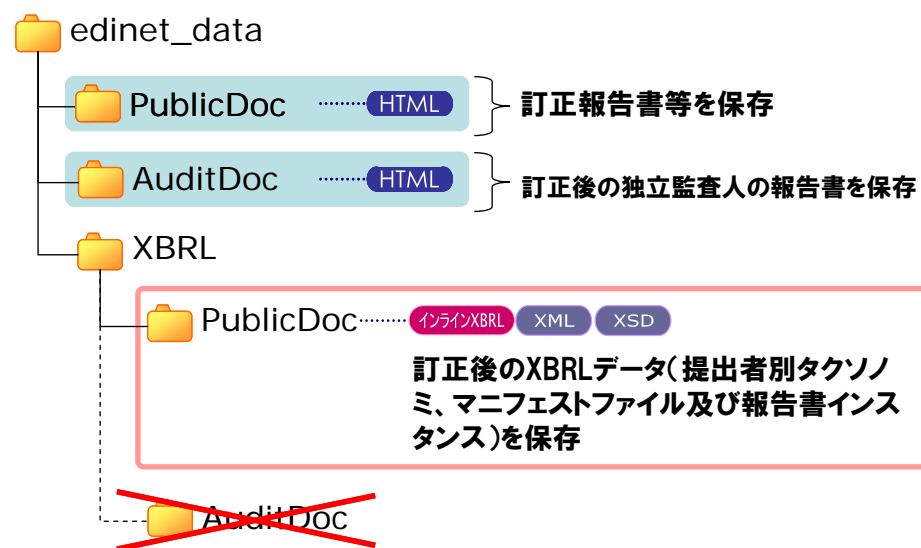
第四版	第三版												
<p>2章 フォルダの準備</p> <p>2-1 使用するフォルダについて</p> <p>2-1-1 必要なフォルダ一覧</p> <p>2-1-1-2 訂正報告書等を提出する場合のフォルダの構成</p> <p>XBRL データで提出している書類を訂正し、訂正報告書等を提出する場合、<u>書類全体が XBRL 対象の様式、財務諸表本表のみが XBRL 対象の様式によって、また、インライン XBRL の訂正の有無によって提出するものは次の図表のとおりです。</u></p> <p style="text-align: center;">図表 2-1-7 XBRL 対象様式での訂正内容と提出するもの</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #4a5568; color: white;">XBRL対象</th> <th style="background-color: #4a5568; color: white;">書類全体がXBRL</th> <th colspan="2" style="background-color: #4a5568; color: white;">財務諸表本表のみがXBRL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">訂正内容</td> <td style="text-align: center;">インラインXBRL又はXBRL</td> <td style="text-align: center;">インラインXBRL又はXBRL</td> <td style="text-align: center;">インラインXBRL又はXBRL 以外</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">提出するもの</td> <td style="text-align: center;">訂正報告書 (A) 訂正後のXBRL データ式</td> <td style="text-align: center;">訂正報告書 (B) 訂正後のXBRL データ式</td> <td style="text-align: center;">(C) 訂正報告書のみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>書類全体が XBRL で、訂正内容がインライン XBRL 又は XBRL の場合（上の図表で (A) の場合）、<u>次の図表のようにフォルダを作成します（ルートフォルダ名は、「edinet_data」としてあります。）</u>。なお、<u>独立監査人の報告書に訂正があった場合、ルートフォルダ直下の「AuditDoc」フォルダに訂正後の同報告書を HTML 形式で格納し、「XBRL」フォルダの配下の「AuditDoc」フォルダに訂正後の独立監査人の報告書のインライン XBRL データを格納します。</u></p>	XBRL対象	書類全体がXBRL	財務諸表本表のみがXBRL		訂正内容	インラインXBRL又はXBRL	インラインXBRL又はXBRL	インラインXBRL又はXBRL 以外	提出するもの	訂正報告書 (A) 訂正後のXBRL データ式	訂正報告書 (B) 訂正後のXBRL データ式	(C) 訂正報告書のみ	<p>2章 フォルダの準備</p> <p>2-1 使用するフォルダについて</p> <p>2-1-1 必要なフォルダ一覧</p> <p>2-1-1-2 訂正報告書等を提出する場合のフォルダの構成</p> <p>XBRL データで提出している書類を訂正し、訂正報告書等を提出する場合は、<u>次の図表のようなフォルダを作成します。書類提出時とフォルダ構成が異なるため、注意が必要です。</u> <u>次の図表は、本文ファイルに誤りがあった場合の例です（ルートフォルダ名は、「edinet_data」としてあります。）。</u></p> <p style="text-align: center;">（追加）</p> <p style="text-align: center;">（追加）</p>
XBRL対象	書類全体がXBRL	財務諸表本表のみがXBRL											
訂正内容	インラインXBRL又はXBRL	インラインXBRL又はXBRL	インラインXBRL又はXBRL 以外										
提出するもの	訂正報告書 (A) 訂正後のXBRL データ式	訂正報告書 (B) 訂正後のXBRL データ式	(C) 訂正報告書のみ										

図表 2-1-8 訂正報告書等を提出する場合のフォルダ構成(1)

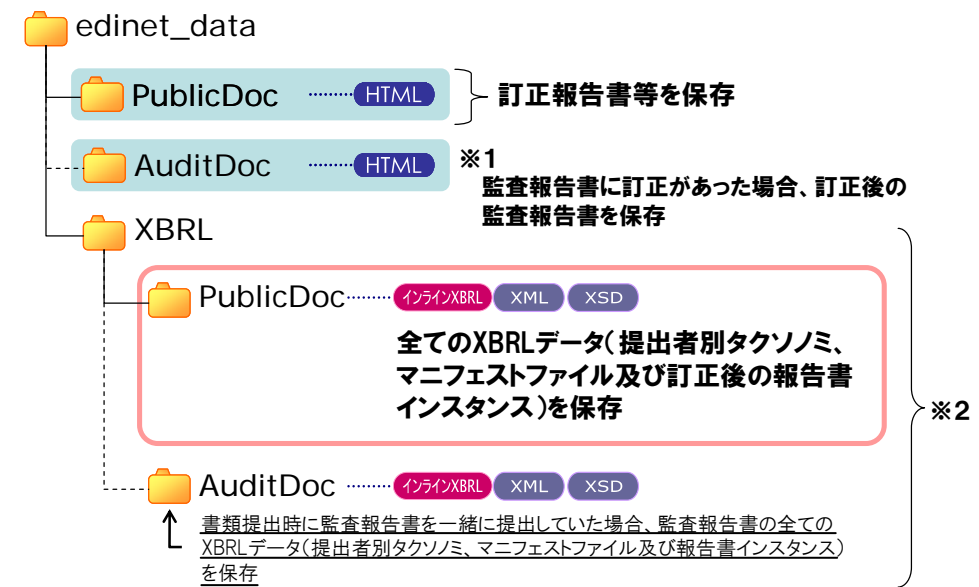


財務諸表本表のみがXBRL対象の場合で、独立監査人の報告書を提出するとき、新規書類提出の場合は、「XBRL」フォルダ内に「AuditDoc」フォルダを作成し、HTML形式で作成した同報告書を格納しますが、訂正報告時は、「XBRL」フォルダの「AuditDoc」フォルダではなく、訂正報告書等を格納する「PublicDoc」フォルダと同じ階層に「AuditDoc」フォルダを作成し、その中に訂正後の独立監査人の報告書をHTML形式で格納します。

図表 2-1-9 訂正報告書等を提出する場合のフォルダ構成(2)



図表 2-1-7 訂正報告書等を提出する場合のフォルダ構成



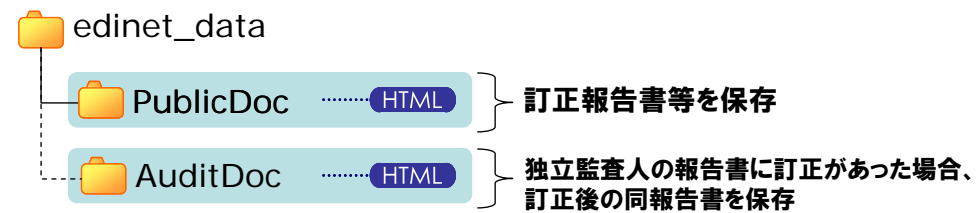
※2 財務諸表本表のみXBRL対象の場合で、財務諸表本表に訂正がないときは、XBRLフォルダの提出は不要です。

訂正報告時には、上の図表で説明しているルートフォルダの配下に作成する「PublicDoc」フォルダ及び「AuditDoc」フォルダの他に、「AttachDoc」フォルダ、「PrivateDoc」フォルダ及び「PrivateAttach」フォルダを作成できます。訂正報告書等はルートフォルダの配下に作成するフォルダに保存します。なお、訂正したインラインXBRLデータを含む全てのXBRLデータを、「XBRL」フォルダの配下の「PublicDoc」フォルダ、「PrivateDoc」フォルダ又は「AuditDoc」フォルダに保存して提出します。

(追加)

財務諸表本表のみが XBRL 対象の様式で、インライン XBRL 又は XBRL に訂正がない場合(「[図表 2-1-7](#) XBRL 対象様式での訂正内容と提出するもの」の (C) の場合)、次の図表のようにフォルダを作成します (ルートフォルダ名は、「edinet_data」としています。)
※XBRL データの提出は不要です。

図表 2-1-10 訂正報告書等を提出する場合のフォルダ構成(3)



3章 提出書類の作成

3-2 提出書類データの作成仕様

3-2-3 画像ファイルについて

3-2-3-1 ファイルサイズについて

1 ファイル当たり 300KB (キロバイト) 以下となるように作成します。

300KB

3-4 PublicDoc

3-4-3 本文ファイル

3-4-3-1 本文ファイルとは

(略)

Memo



使用可能文字について

本文ファイル、付随ファイル等で使用可能な文字は、「5章 その他」(p.143)を参照してください。

(追加)

3章 提出書類の作成

3-2 提出書類データの作成仕様

3-2-3 画像ファイルについて

3-2-3-1 ファイルサイズについて

1 ファイル当たり 100KB (キロバイト) 以下となるように作成します。

100KB

3-4 PublicDoc

3-4-3 本文ファイル

3-4-3-1 本文ファイルとは

(略)

Memo



使用可能文字について

本文ファイル内等で使用可能な文字は、「5章 その他」(p.141)にある文字のみ使用可能です。

例えば、「@」は使用できません。

(略)

Memo

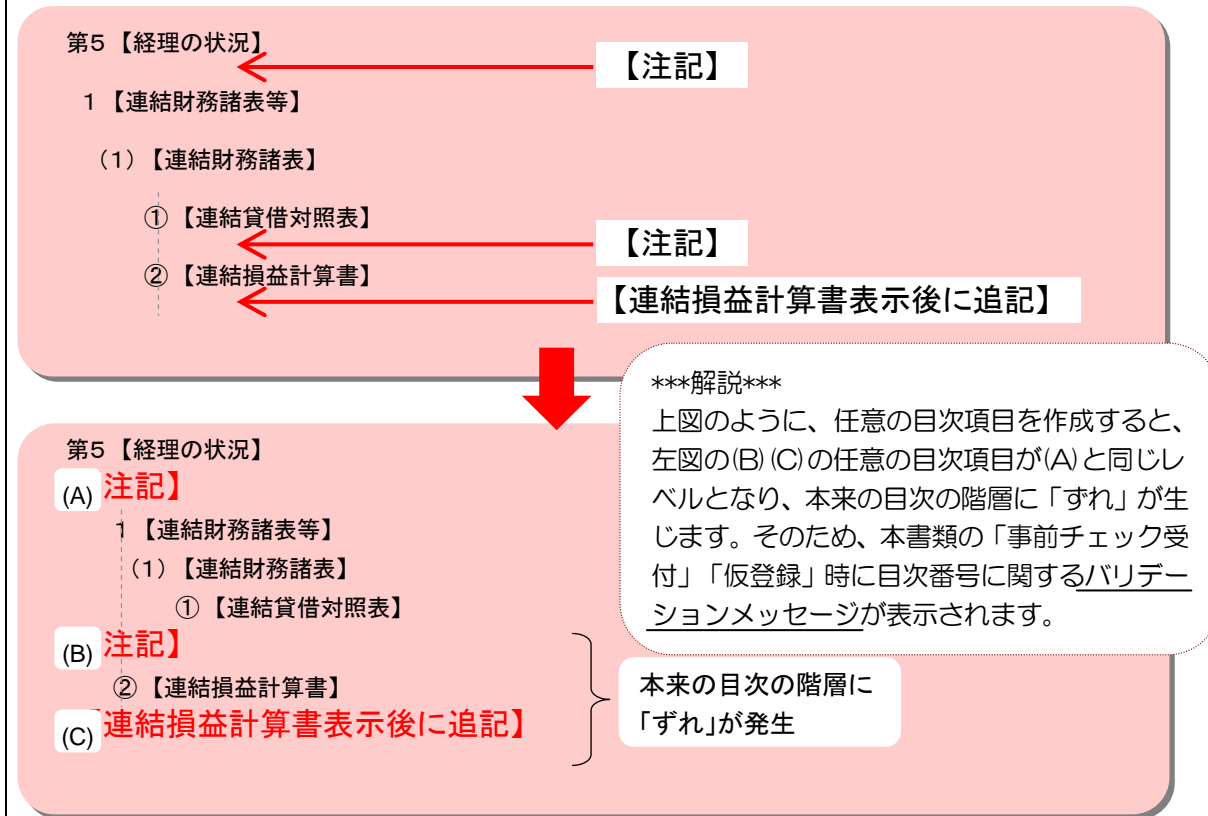


任意の目次項目を作成する場合

【 】でくられた項目で、目次番号を利用しない項目を利用すると、その目次項目は、最初に現れた【 】の直前の目次項目の、次のレベルとして扱われます。二つ目以降に記載された番号なしの目次項目は、最初に現れた【 】の直前の目次項目と同じか、それより上のレベルの目次が出現するまで、一つ目に記載された番号なしの目次項目と同じレベルとして扱われます。

そのため、番号の振られた目次項目の途中で、番号なしの目次項目を挿入すると、本来の番号で管理している目次の階層にずれが生じます。番号なしで【 】を使用する際は、前後の目次レベルを注意して記載してください。

図表 3-4-6 任意の目次項目を作成するイメージ



(削除)

(略)

Memo

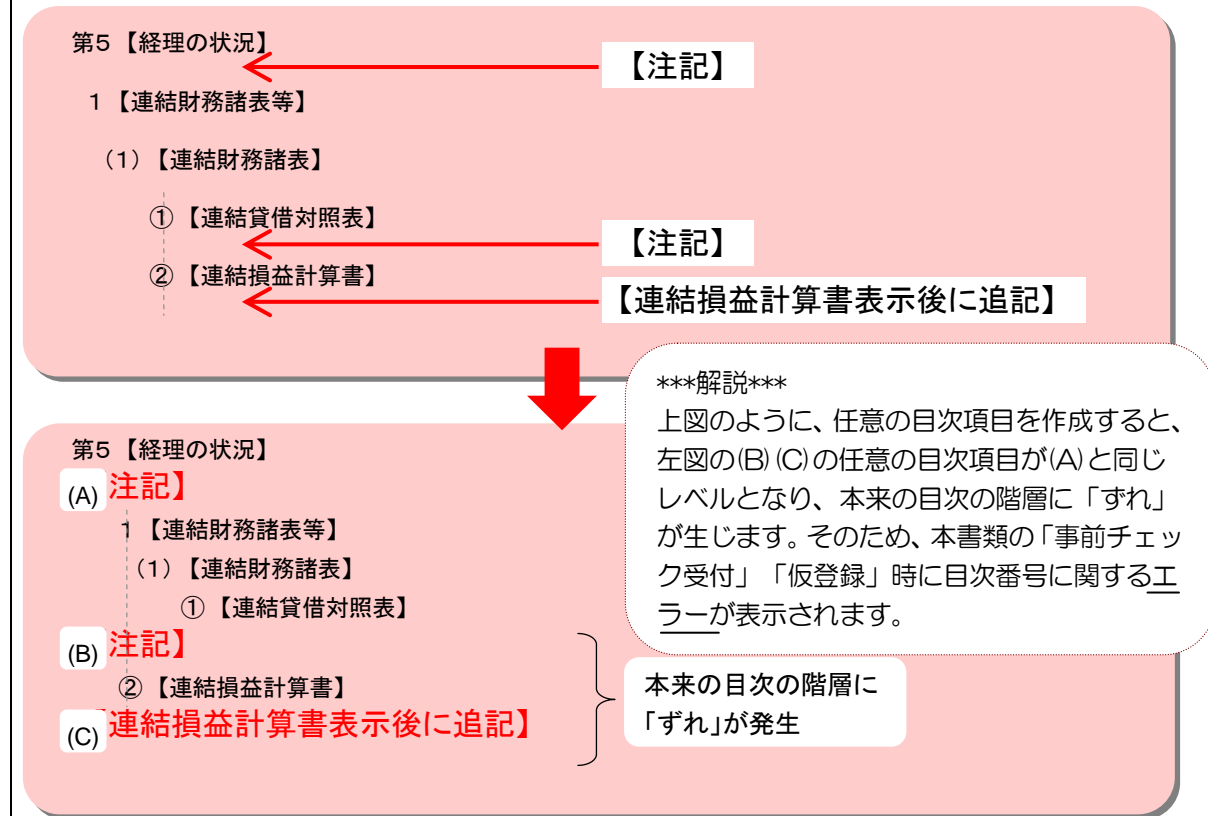


任意の目次項目を作成する場合

【 】でくられた項目で、目次番号を利用しない項目を利用すると、その目次項目は、最初に現れた【 】の直前の目次項目の、次のレベルとして扱われます。二つ目以降に記載された番号なしの目次項目は、最初に現れた【 】の直前の目次項目と同じか、それより上のレベルの目次が出現するまで、一つ目に記載された番号なしの目次項目と同じレベルとして扱われます。

そのため、番号の振られた目次項目の途中で、番号なしの目次項目を挿入すると、本来の番号で管理している目次の階層にずれが生じます。番号なしで【 】を使用する際は、前後の目次レベルを注意して記載してください。

図表 3-4-6 任意の目次項目を作成するイメージ



Memo



XBRL データに続く項目について

財務諸表をXBRLデータで提出する場合には、当該財務諸表の間に挿入する項目及び後に続く項目は別途HTMLデータとして作成することとなります。当該HTMLデータは「本文ファイル」となるため、当該項目は【 】でくられた項目で始まる必要があることに注意してください。

なお、通常、財務諸表に続く次のような項目については、【 】を付すことが適当です。

- ・【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】
- ・【重要な会計方針】
- ・【会計方針の変更】
- ・【注記事項】

3-3 PDF 変換仕様

3-3-1 EDINET での PDF 変換

EDINET では、提出された書類を印刷して利用する方又は使用中のコンピュータに保存する方のために、提出書類の本文を PDF 形式のファイルへ変換する機能を提供しています。

この PDF ファイルへの変換は「Copper PDF (カッパー・ピーディーエフ)3.0.9」(以下「Copper PDF」という。)(ただし、EDINET で用いるバージョンを予告なく変更する可能性があります。)によって行っています。

4 章 XBRL から HTML への表示変換ガイド

4-1 表示変換方式で書類を提出する場合

(略)

また、表示変換方式(平成 20 年から開始した現行 EDINET における XBRL を HTML に変換する方式)での新規書類提出時における EDINET での事前チェック及び仮登録の際に発生した、例外メッセージに対する対処方法は『バリデーションメッセージ一覧』を参照してください。

Memo



XBRL データに続く項目について

財務諸表を XBRL データで提出する場合には、当該財務諸表の間に挿入する項目及び後に続く項目は別途 HTML データとして作成することとなります。当該 HTML データは「本文ファイル」となるため、当該項目は【 】でくられた項目で始まる必要があることに注意してください。

なお、通常、財務諸表に続く次のような項目については、【 】を付すことが適当です。

- ・【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】
- ・【重要な会計方針】
- ・【会計方針の変更】
- ・【注記事項】

4-6 インライン XBRL 適用開始以前に IFRS タクソノミを使用した提出

(内容は『提出書類ファイル仕様書』を参照してください。)

3-3 PDF 変換仕様

3-3-1 EDINET での PDF 変換

EDINET では、提出された書類を印刷して利用する方又は使用中のコンピュータに保存する方のために、提出書類の本文を PDF 形式のファイルへ変換する機能を提供しています。

この PDF ファイルへの変換は「Copper PDF (カッパー・ピーディーエフ)3.0.7」(以下「Copper PDF」という。)(ただし、EDINET で用いるバージョンを予告なく変更する可能性があります。)によって行っています。

4 章 XBRL から HTML への表示変換ガイド

4-1 表示変換方式で書類を提出する場合

(略)

(追加)

(追加)

5章 その他

5-1 文字コードセット

(略)

上記のほかに、Unicodeによる数値文字参照又は画像を使用することができます。

上記に記載されている文字コードセット一覧に含まれる文字は、そのまま使用してください。

Unicodeによる数値文字参照で記載した場合、EDINETでPDFファイルを自動作成する際に、文字化けを起こす可能性がありますので、提出書類をEDINETへ仮登録後に「提出書類PDF確認」にて対象の文字が正しく出力されていることを確認してください。

5章 その他

5-1 文字コードセット

(略)

(追加)

第四版（平成25年4月24日更新版）	第四版（平成25年3月21日公表版）
<p>3章 提出書類の作成</p> <p>3-3 PDF 変換仕様</p> <p>3-3-1 EDINET での PDF 変換</p> <p>EDINET では、提出された書類を印刷して利用する方又は使用中のコンピュータに保存する方のために、提出書類の本文を PDF 形式のファイルへ変換する機能を提供しています。</p> <p>この PDF ファイルへの変換は「Copper PDF（カッパー・ピーディーエフ）3.0.11」（以下「Copper PDF」という。）（ただし、EDINET で用いるバージョンを予告なく変更する可能性があります。）によって行っています。</p>	<p>3章 提出書類の作成</p> <p>3-3 PDF 変換仕様</p> <p>3-3-1 EDINET での PDF 変換</p> <p>EDINET では、提出された書類を印刷して利用する方又は使用中のコンピュータに保存する方のために、提出書類の本文を PDF 形式のファイルへ変換する機能を提供しています。</p> <p>この PDF ファイルへの変換は「Copper PDF（カッパー・ピーディーエフ）3.0.9」（以下「Copper PDF」という。）（ただし、EDINET で用いるバージョンを予告なく変更する可能性があります。）によって行っています。</p>